



提出期限	令和7年7月31日
調査ID	

令和6年度総合エネルギー統計補足調査 (電気事業者の発電量内訳等調査)

経済産業省
資源エネルギー庁

- この調査は、統計法(平成19年法律第53号)に基づく一般統計調査です。
- 報告された調査票は、統計目的以外には使用されず、報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。事実をありのままに記入してください。
- 電子媒体調査票(Excel形式)によるe-mailでの提出も可能です。希望される場合には、総合エネルギー統計補足調査事務局に連絡してください。

A 1. 送付先

送付先

A 2. 記入者

「送付先」欄と同一の場合はチェックしてください		左の欄にチェックした場合は記入不要です	
所在地	☐ 「送付先」と同一	〒	都 道 府 県
企業名 事業所名	☐ 「送付先」と同一	(番地・建物名等)	
部署名	☐ 「送付先」		
役職名	☐ 「送付先」		
記入者 氏名	☐ 「送付先」		
電話番号		-	-
e-mail			

A3. 法人番号

※ 貴社の法人番号(13桁)をご記入ください。

----- この調査は、「総合エネルギー統計」作成のために実施するものです -----

●総合エネルギー統計とは？

資源エネルギー庁では、日本のエネルギー需給の実態を定量的に把握し、エネルギー・環境政策の企画立案やその効果の実測・評価・状況判断を支援するものとして「総合エネルギー統計」を作成しています。これは、国際エネルギー機関へのエネルギー需給実績の報告や、国連気候変動枠組条約事務局へ報告するエネルギー起源CO₂排出量の算定にも活用されています。

●この調査の目的

この調査は、総合エネルギー統計の電力に関する部門の値を把握して作成に役立てます。具体的には、貴社の自社発電所における「所内用電力量」「発電端電力量」「燃料種別電力量の内訳」「火力発電所における燃料消費量のうち雑用の内訳」を調査し、総合エネルギー統計の一部に組み入れます。

●調査の対象となる事業者の方

この調査は、電気事業法に基づく定期報告のうち、「発受電月報」をご提出いただいている電気事業者の方を対象としています。このため、調査項目「C 送電端電力量」は、発受電月報「第1表」で報告された「自社発電量」(電力調査統計において公表)、調査項目「AA 雑用」は、「第3表」で報告された「火力発電用燃料消費実績のうち雑用」の年度合計値をプレプリントしています。

----- 調査への御協力をお願いいたします -----

備考欄

--

■ 自社発電所※における1年間の発電端電力量、所内用電力量を燃料種別に記入してください。

※発電月報で報告している自社発電電力量にかかる電力量を記入してください。発電月報の報告対象外の発電所や発電機の方は本調査の対象外です。

・「C 送電端電力量」は、発電月報第1表で報告された「自社発電」電力量で、年度合計値をプレプリントしています。

・各欄へ記入した値については、原則、右の式が成り立ちます。 $A=B+C$

ただし、点検で発電設備を停止している等の理由で $A=B+C$ が成り立たない場合には、備考欄にその理由を記載のうえ、実績値をご記入ください。

令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

種別		A 発電端電力量 (10 ³ kWh)	B 所内用電力量 (10 ³ kWh)	C 送電端電力量 (10 ³ kWh)
水力発電所	一般			
	揚水式			
	計			
火力発電所	石炭			
	(バイオマス)			
	(廃棄物)			
	(アンモニア)			
	L N G			
	(水素)			
	石油			
	(バイオマス)			
	(廃棄物)			
	L P G			
	その他ガス			
	(バイオマス)			
	(アンモニア)			
	(水素)			
	(石炭)			
	(L N G)			
	瀝青質混合物			
	その他			
	(バイオマス)			
	(廃棄物)			
	(石炭)			
	(石油)			
	計			
原子力発電所				
新エネルギー等発電所	風力			
	太陽光			
	地熱			
	バイオマス			
	廃棄物			
	アンモニア			
	水素			
	計			
その他				
計				

プレプリント

備考

- 1 自社発電の電力量の欄には、火力発電所で2種類以上の燃料を混焼している場合には、主要な燃料の欄にこれらを計上すること。主要な燃料が石炭、LNG、石油であって、バイオマス、廃棄物、アンモニア、水素を混焼している場合には、主要な燃料の下欄の「(バイオマス)」 「(廃棄物)」 「(アンモニア)」 「(水素)」 にその内訳を示すこと。主要な燃料が「その他ガス」または「その他」に該当する場合は、主要な燃料の下欄の「(バイオマス)」 「(廃棄物)」 「(アンモニア)」 「(水素)」 「(石炭)」 「(LNG)」 「(石油)」 にその内訳を示すこと。なお、火力発電の燃料種別の電力量の内訳は、次式により発電所別に算出した数値の合計を記載すること。

$$\frac{\text{発電電力量}(10^3\text{kWh})\text{ (「A 発電端電力量」に含まれる、発電所別の電力量)}}{\text{消費燃料総発熱量}(10^3\text{kJ})\text{ (発電所別の燃料種ごとの「消費量×発熱量」の合計値)}} \times \frac{\text{当該燃料発熱量}(10^3\text{kJ})\text{ (発電所別の当該燃料の「消費量×発熱量」の合計値)}}{\text{消費燃料総発熱量}(10^3\text{kJ})\text{ (発電所別の燃料種ごとの「消費量×発熱量」の合計値)}}$$

- 2 自社発電の新エネルギー等発電所の計の電力量の欄には、風力、太陽光及び地熱の発電量の合計を記載する。また、バイオマス、廃棄物、アンモニア、水素の電力量の欄には、自社発電の火力発電所の欄に記載する発電量のうち、バイオマス、廃棄物、アンモニア、水素に係る発電量を「 」を付して再掲すること(Excel版様式に記載する際は数値を入力すれば自動で「 」が付されるため、「 」は入力しないこと)。
- 3 所内用電力量は、発電所を運転するための付帯設備(発電機制御装置や発電所内の建屋内外の動力、照明等)で消費した電力量。定期点検中などで停止しているが、設備維持のために要した所内用電力のほか、発電設備を廃棄・新設するために要した所内用電力も計上すること。

■火力発電所※における1年間の「火力発電所における燃料消費量のうち雑用の内訳」を記入してください。

※発電月報で報告している「火力発電所における燃料消費量のうち雑用の内訳」を記入してください。
・「火力発電所における燃料消費量のうち雑用」の実績、「その他のバイオマス」「その他ガス」「その他」の燃料種別及び「その他」の単位はプレプリントしています。
・各欄へ記入した値については、原則、右の式が成り立ちます。 AA＝AB＋AC＋AD
ただし、何等かの理由で AA＝AB＋AC＋AD が成り立たない場合には、備考欄にその理由を記載のうえ、実績値をご記入ください。

令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

燃料種別		単位	受入量	消費量 (排出量)	AA 雑用			発電量	月末貯蔵量	棚卸等	備考欄
石炭	湿潤	t			プレ プ リ ン ト						
	乾燥	t									
重油	A重油	kl									
	B・C重油	kl									
	その他重油	kl									
原油		kl									
天然ガス液		kl									
軽油		kl									
灯油		kl									
LPG		t									
LNG		t									
歴青質混合物		t									
木質 バイオマス	湿潤	t									
	乾燥	t									
その他バイオマス											
	(プレプリント)	t									
	(プレプリント)	t									
	(プレプリント)	t									
	(プレプリント)	t									
	(プレプリント)	t									
廃棄物		t									
廃食油		kl									
残渣油(アスファルト)		kl									
天然ガス		10 ³ m ³									
COG		10 ³ m ³									
高炉ガス		10 ³ m ³									
転炉ガス		10 ³ m ³									
混合ガス		10 ³ m ³									
製油所ガス		10 ³ m ³									
都市ガス		10 ³ m ³									
アンモニア		t									
水素		t									
その他ガス											
	(プレプリント)	10 ³ m ³									
	(プレプリント)	10 ³ m ³									
	(プレプリント)	10 ³ m ³									
	(プレプリント)	10 ³ m ³									
	(プレプリント)	10 ³ m ³									
その他											
	(プレプリント)	プレプリント									
	(プレプリント)	プレプリント									
	(プレプリント)	プレプリント									
	(プレプリント)	プレプリント									
	(プレプリント)	プレプリント									

備考

- 1 「受入量」、「消費量(排出量)」、「雑用」、「発電量」、「月末貯蔵量」、「棚卸等」の記載は不要です。
2 熱供給事業法に基づく熱供給事業者としての熱供給以外で熱供給を行っていれば「熱供給用」に計上してください。